

一般質問通告者一覧表

発言者 (一問一答・一括)	大項目
頓宮美津子 (一問一答)	1 男女共同参画社会について 2 市民との協働について 3 地デジへの移行について 4 子どもの健診事業について
難波 正吾 (一問一答)	1 国民健康保険について 2 地デジ化について 3 保育・教育環境について
丹下 茂 (一問一答)	1 福祉行政について 2 観光行政について 3 文化行政について 4 市長の政治姿勢について
塩見 禎章 (一問一答)	1 平成21年度決算について 2 学校施設の耐震補強について 3 公共施設の耐震状況について 4 林道黒田浅原峠線について 5 ユニチカ跡地利用について
秋山 律郎 (一問一答)	1 市長の政治姿勢について 2 人口減少時代における地域の振興について 3 清音神在本線について 4 ケーブルテレビのデジタル化に向けての対応について
村木 理英 (一問一答)	1 不妊治療支援事業助成金制度について 2 下水道事業について
名木田正昭 (一問一答)	1 市長の政治姿勢について 2 河川の安全安心について 3 川西ブロックの計画事業等について
赤澤 康宏 (一問一答)	1 指定管理について 2 消防について
西森 頼夫 (一問一答)	1 農業振興について 2 合併協定に基づく事業の進捗状況について
根馬 和子 (一問一答)	1 子育て支援について 2 松枯れについて 3 教育行政について
大熊 公平 (一問一答)	1 水道事業について 2 地区防災について 3 全国学習学力調査(全国学力テスト)について
笠原 武士 (一問一答)	1 環境対策について 2 来年度の予算編成について
劔持 堅吾 (一問一答)	1 市長の政治姿勢について

市政のここが知りたい
一般質問



9月定例市議会では、9月9日、10日、13日の3日間、13人の議員が一般質問を行いました。6月から議会改革の一環として市長と議員が対面して質問答弁を行う一問一答方式を導入していますが、さらにスピーディな議論とするため、この議会から答弁者(市長等)側の席にマイクを設置しました。なお、一般質問の詳しい内容をお知りになりたい方は、市図書館などで9月定例市議会会議録(12月上旬発行予定)をご覧ください。インターネットで検索してください。

問 現在の健診体制で十分か。また総社市独自の対応はできないか。
答 現在の健診率は88.8%。100%を目指し保健師による幼稚園、保育園の訪問を強化し、各機関と連携し努力したい。障がいのある人の相談支援センター「ゆうゆう」の強化体制も検討したい。(市長)

問 生活保護世帯に対するチューナー等の国の助成と、市が新たな助成制度を設けるかどうか聞きたい。
答 チューナーは国の補助制度で手続きをしている。市の助成制度は考えていない。(市長)

頓宮美津子

男女共同参画社会について

問 ①DV防止基本計画がいまだに策定されていない。策定状況はどうなっているのか。
②男女共同参画係を設け専門員も配置し、相談窓口を一本化し、DVの迅速な解決に努力すべきではないか。

答 ①10月に審議会にかけ、12月にはアンケート調査を行い出来るだけ早い時期にやっいていきたい。(市長)
②現在の人権・まちづくり課での対応で、今はよいと思う。窓口一本化と専門員の配置は

市民との協働について

問 市長はかねてから、「わたしたちが考え、私たちが実行するまちの実現」と言っている。市民力を期待し、市民が提案する事業を募集しそれに助成する事業を展開してはどうか。

答 よい考えだと思う。今後、総社らしい市民提案型のものを進めていきたい。(市長)

子どもの健診事業について

問 何らかの支援を必要な子どものため、早期発見・ケア

か。
答 行政としてはこの問題を大きく取り上げざるを得ないし、新しいテーマになろうかと思う。うつ病については、平成21年度総社市内の自損者数は34名でこれを少しでも減らすように取り組みたい。また、DVにおいても増加傾向にあり、教育委員会・地域包括支援センターなど各機関で対応しているが、今後も全力で取り組みたい。(市長)

観光行政について

問 鬼ノ城内に休憩所またはトイレの設置はできないか。また、タンチョウ公園の活用について国分寺周辺にタンチ



放鳥により観光の目玉の一つとして期待されるタンチョウヅル

ョウヅルを放鳥できないか。
答 基本的には、国指定の史跡であり、鬼ノ城の城内にトイレを新たにということとは、ふさわしくないとと思う。文化庁、県とも相談してみる。また、タンチョウヅルの放鳥については県管理のもとにあり、文化庁の許可が必要だが、繁殖と保護ということ以上に、観光や全国発信を考えて、吉備路の空にこの鳥たちを飛ばすことにトライしたい。(市長)

福祉行政について

問 福祉行政でうつ病、心の病やひきこもり、DVといった家庭内暴力の問題、児童虐待の問題、独居老人の孤独死の問題等対応が急務となっているがどのように対応するの